

13.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - (6)譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- 3)お客様自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社
型番: SW-KVM2DMDU	シリアルナンバー:	
お客様・お名前・ご住所・TEL		
販売店名・住所・TEL		
担当者名		
保証期間 1年		お買い上げ年月日 年 月 日

最新の情報はWEBサイトで!! <https://www.sanwa.co.jp/>

■サポート情報

- ソフトダウンロード
- Q&A (よくある質問)
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから



▼サポートページへ



ご質問、ご不明な点などが
ありましたら、ぜひ一度
弊社WEBサイトをご覧ください。

各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

ver.1.0

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
 福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目3番3号博多八百治ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

BJ/AE/HADaT



SW-KVM2DMDU

DVIデュアルモニタ対応 パソコン自動切替器 (2:1) 取扱説明書



この度は、DVIデュアルモニタ対応パソコン自動切替器(2:1)「**SW-KVM2DMDU**」(以下本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ①切替器 1台 | ④ACアダプタ (DC5.3V 2.4A)..... 1個 |
| ②パソコン接続用ケーブル (1.8m) 2本 | ⑤取扱説明書・保証書(本書) 1部 |
| ③DVIデュアルリンクケーブル (1.8m)..... 2本 | |

※欠品や破損があった場合は、品番(SW-KVM2DMDU)と上記の番号(①～⑤)と名称(ACアダプタなど)をお知らせください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<https://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

本書の表記について	P.3
安全にお使いいただくためのご注意	P.3
1.特長	P.3
2.動作環境	P.3
3.各部の名称とはたらき	P.4~5
4.接続方法	P.6~8
5.デュアルディスプレイ(マルチディスプレイ)	P.8~9
・デュアルディスプレイ(マルチディスプレイ)とは	P.8
・デュアルディスプレイ(マルチディスプレイ)接続例	P.9
6.クワッドディスプレイ(4画面マルチディスプレイ)	P.9~10
・クワッドディスプレイ(4画面マルチディスプレイ)とは	P.9
・SW-KVM2DMDUを2台使用したクワッドディスプレイ(DCCモード)接続例	P.10
7.基本操作	P.11
8.ホットキー操作	P.12~13
・ポート切替	P.12~13
・オートスキャン	P.13
9.ホットキーセッティングモード	P.13~19
・ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する	P.14
・ポート切替のホットキーを変更する	P.14
・使用キーボードの変更	P.14
・ホットキー設定を確認する	P.14
・USB機器のリセット	P.15
・ビープ音のON/OFF切替	P.15
・ポート切替ホットキーの無効化	P.15
・ホットキーの設定をデフォルトに戻す	P.15
・ディスプレイエミュレーション機能	P.15
・キーボードエミュレーション	P.15
・ホットキーセッティングモード一覧	P.16
10.Macキーボードエミュレーション	P.17
11.仕様	P.18
12.トラブルシューティング	P.19
13.保証規定	P.20
・保証書	P.20
WEBサイトのご案内	P.20

本書では、以下の表記を使用します。

KVM …… キーボード・ディスプレイ・マウスのこと
 オーディオ …… スピーカー・マイクのこと
 USBハブ …… フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

① 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

● 情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

▲ 重要な情報を示しています。

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

▲ **注意** 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめに行うことをお勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)
- 取付け・取外しの際は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
 - (1)直射日光の当たる場所 (2)湿気や水分のある場所 (3)傾斜のある不安定な場所
 - (4)静電気の発生する場所 (5)通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)
- お手入れについて
 - (1)清掃するときは電源を必ずお切りください。(2)機器は柔らかい布で拭いてください。
 - (3)シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

1.特長

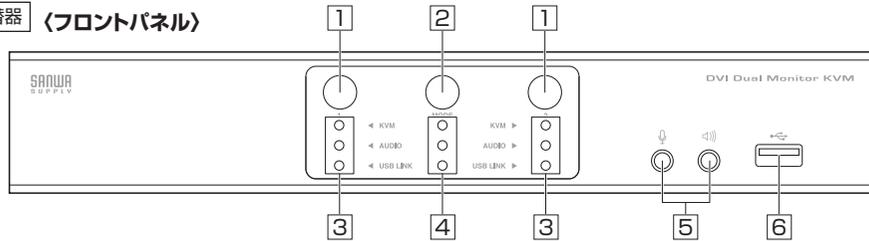
- 1組のキーボード・マウス・ディスプレイ(DVIデュアルモニター)で2台のパソコンを切替えて使用できます。
- 2台のDVIディスプレイを接続することができるのでグラフィックデザイナーや金融・医療関係、ゲームユーザーなどに最適です。
- クワッドモニター機能を搭載しており本製品を2台ダイジェネーション接続することで最大4台までのDVIモニターをマルチモニター環境のまま切替共有することもできます。
- デュアルリンクDVI対応で超高解像度2560×1600(60Hz)に対応しています。
- HDCP対応でフルHD解像度(1920×1080)、WUXGA(1920×1200)のワイドディスプレイにも対応しています。
- ディスプレイエミュレーション機能(EDID読み出し回路)を搭載。ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わる、画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- USB2.0ハブを2ポート搭載しており、USBプリンターなど各種USBデバイスを複数台のパソコンで切替えて共有することができます。さらに単独切替えも可能なので別のパソコンでUSB機器を動作させながら他のパソコンで作業をする、ということも可能です。
- スピーカー、マイクの共有も可能です。単独切替にも対応しておりコンソールデバイスとスピーカー・マイクは別々に切替えができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することが可能です。
- フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載。手軽に接続・取外しができるのでSkypeなどIP電話の利用時に便利です。
- キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。
- ホットキー、本体切替ボタン、2通りの切替方法に対応しています。
- ソフトウェアのインストール不要で、接続するだけで全ての機能を使用することができます。
- 2台のパソコンを切替え操作なしにモニタリング可能なオートスキャン機能搭載です。

2.動作環境

- | | |
|--|--|
| ■ 対応機種 | ■ 対応OS |
| Windows搭載(DOS/V)/パソコン | Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit,各Edition対応) |
| Apple Macシリーズ(USB Aコネクタ メス、DVI(24/29pin)出力を持つ機種) | Windows Server 2016/2012(R2)/2008(R2)/2003(R2) |
| | macOS 10.12~10.14, Mac OS X 10.6~10.11 |
| | Linux(CentOS,uBuntu,OpenSUSE) |

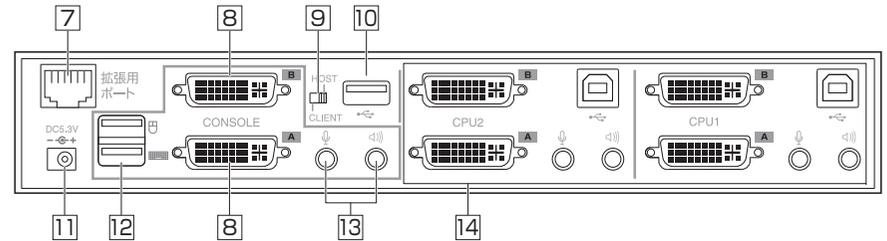
3.各部の名称とはたらき

①切替器 (フロントパネル)



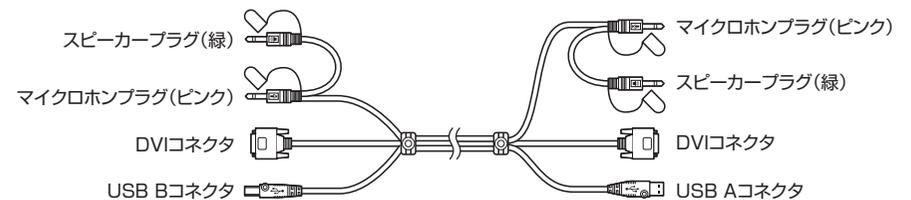
名称	機能
1 ポート選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●1回押すことで選択したポートにKVM、AUDIO、USBデバイス全てを切替えます。 ●モード選択ボタンと組み合わせることで特定のポートのみを任意のポートに切替えることができます。 ●ポート選択ボタン1・2を同時に2秒以上押すとオートスキャンモードを開始します。※P.13参照
2 モード選択ボタン	押すことで4モードLEDの点灯箇所が切替わります。(オレンジ点灯)
3 ポートLED	<p>選択しているポートの状態を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●KVM(明るく緑点灯)…点灯側にキーボード・マウス・VGA(映像)を切替えています。 ●KVM(薄く緑点灯)…接続されたパソコンの電源がONになっている状態(未選択)です。 ●AUDIO(明るく緑点灯)…点灯側にスピーカー・マイクを切替えています。 ●USB LINK(明るく緑点灯)…点灯側にUSBハブポートを切替えています。 <p>例1) KVM(キーボード・マウス・VGA)、オーディオ(スピーカー・マイク)、USB LINK(USBハブ)がポート1に切替わっている状態。ポート2に接続されたパソコンの電源がONになっている状態。</p> <p>例2) KVM(キーボード・マウス・VGA)がポート2側に切替わっている状態。オーディオ(スピーカー・マイク)、USB LINK(USBハブ)はポート1側に切替わっている状態。</p>
4 モードLED	<p>モード選択ボタンを押すことでモードLEDの点灯箇所が切替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モード選択ボタンを1回押すことでKVM・AUDIO・USB LINKのモードLEDが点灯します。(オレンジ点灯) この状態でポート選択ボタンを押すと全てのポートが選択側に切替わります。 ●モード選択ボタンを2回押すことでKVMのモードLEDが点灯します。(オレンジ点灯) この状態でポート選択ボタンを押すとKVM(キーボード・マウス・VGA)のみが選択ポート側へ切替わります。 ●モード選択ボタンを3回押すことでAUDIOのモードLEDが点灯します(オレンジ点灯) この状態でポート選択ボタンを押すとAUDIO(スピーカー・マイク)のみが選択ポート側へ切替わります。 ●モード選択ボタンを4回押すことでUSB LINKのモードLEDが点灯します(オレンジ点灯) この状態でポート選択ボタンを押すとUSB LINK(USBハブ)のみが選択ポート側へ切替わります。 <p>※モード選択ボタンを押して2秒以内にポートが選択されないとモードLEDは消灯します。</p>
5 コンソールオーディオポート(マイク)	コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。
6 USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンターやスキャナーなど)を接続します。

①切替器 (バックパネル)

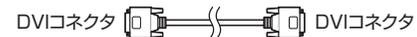


名称	機能
7 拡張用ポート(RJ-45ポート)	クワッドディスプレイ用にDCCモード(デジィー・チェーン・コントロール)をセットアップする際に2台のSW-KVM2DMDUを接続するのに使用します。詳細はP.10「SW-KVM2DMDUを2台使用したクワッドディスプレイ(DCCモード)接続例」を参照してください。
8 コンソールDVIポート	共有する2台のDVIディスプレイを接続します。
9 DCCスイッチ	クワッドディスプレイDCCモードで2台のSW-KVM2DMDUをセットアップする際にホストとクライアントを特定するのに使用します。詳細はP.10「SW-KVM2DMDUを2台使用したクワッドディスプレイ(DCCモード)接続例」を参照してください。
10 USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンターやスキャナーなど)を接続します。
11 電源ジャック	付属のACアダプタを接続します。
12 コンソールマウス・キーボードポート	共有するマウス・キーボードを接続します。
13 コンソールオーディオポート	共有するスピーカー・マイクを接続します。
14 パソコンポート	付属の接続ケーブルを使用し、パソコンを接続します。2台目のDVIディスプレイとは付属のDVIデュアルリンクケーブルで接続します。

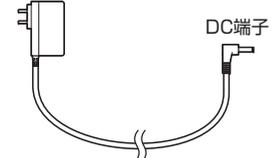
②パソコン接続用ケーブル



③DVIデュアルリンクケーブル



④ACアダプタ

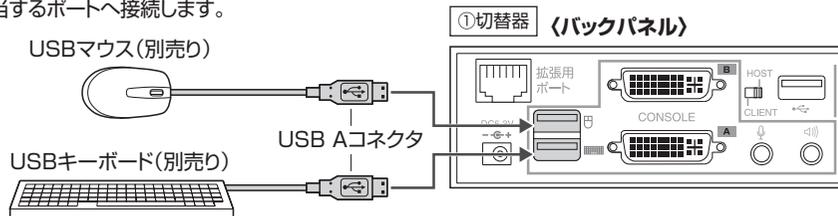


4. 接続方法

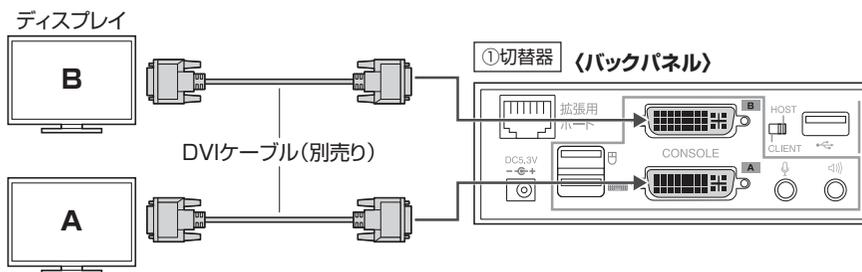
〈接続する前に〉

- 接続するパソコンや周辺機器など、すべての電源がOFFになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるパソコンは、電源ケーブルも抜いてください。
- パソコンや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアース接続されていることを確認してください。
- 以下の手順に従って作業を行ってください。

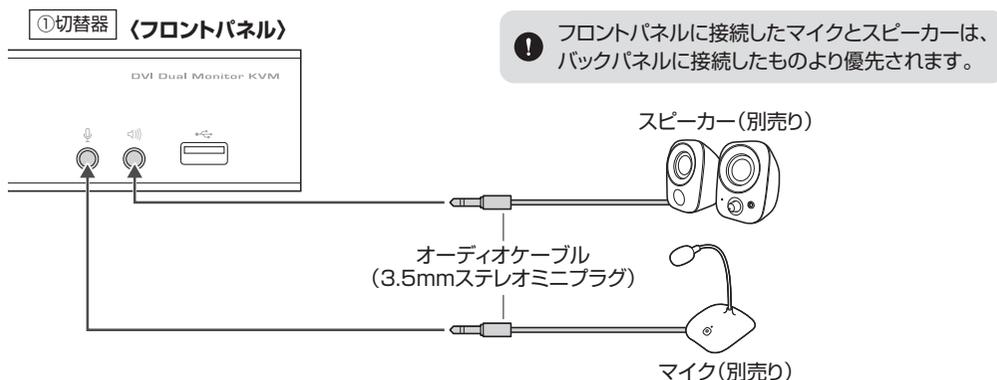
- ① キーボード(別売り)とマウス(別売り)を、切替器のバックパネルのコンソールマウス・キーボードポートに接続します。**〈USBマウスとUSBキーボードを使用する場合〉** それぞれ該当するポートへ接続します。



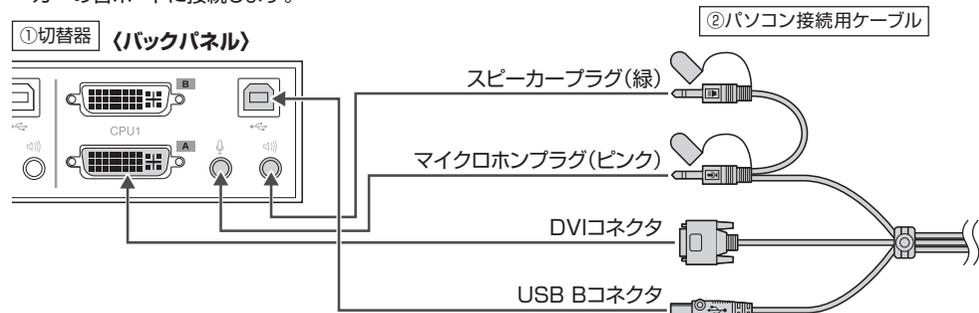
- ② DVIケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイ2台を、切替器のバックパネルのコンソールDVIポートに接続します。



- ③ メインで使用するマイクとスピーカーは、切替器のフロントパネルのコンソールオーディオポートに接続します。



- ④ 付属のパソコン接続用ケーブルのDVIコネクタを、切替器のバックパネルのパソコンポートにあるDVIポートAに接続し、同じケーブルに付属しているUSB B、マイク、スピーカーの各コネクタを対応するUSB、マイク、スピーカーの各ポートに接続します。

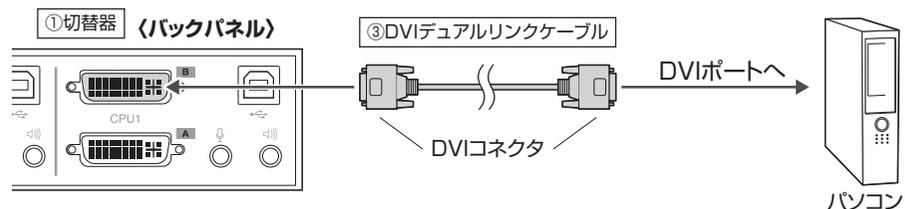


- ! 各コネクタは必ず同一のKVMポートに接続してください。

- ⑤ パソコン接続用ケーブルのもう片方の端を、本製品に接続するパソコンのUSB、モニター、マイク、スピーカーの各ポートに接続します。



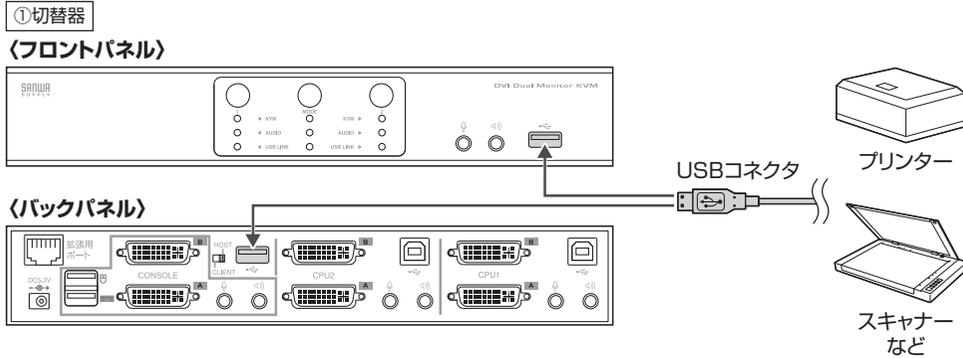
- ⑥ 付属のDVIデュアルリンクケーブルのDVIコネクタを、切替器のバックパネルの同じKVMポートにあるDVIポートBに接続し、もう片方の端を、本製品に接続する⑤と同じパソコンのDVIポートに接続します。



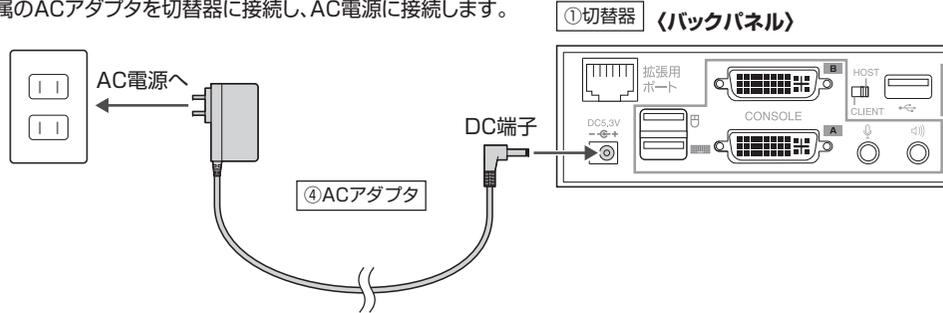
- ! 他にも製品に接続するパソコンがある場合は、手順④～⑥を繰り返してください。

4. 接続方法 (続き)

- ⑦ USBデバイスを使用する場合は、切替器のフロントパネルまたはバックパネルのUSB Aポートに接続します。
(USB Aポートはフロントパネル、バックパネルにそれぞれ1ヶ所ずつあります)



- ⑧ 付属のACアダプタを切替器に接続し、AC電源に接続します。

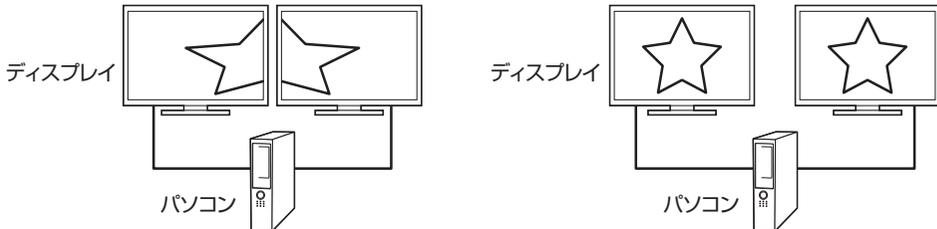


- ⑨ 本製品に接続されているパソコンの電源をONにします。

5. デュアルディスプレイ (マルチディスプレイ)

デュアルディスプレイ (マルチディスプレイ) とは

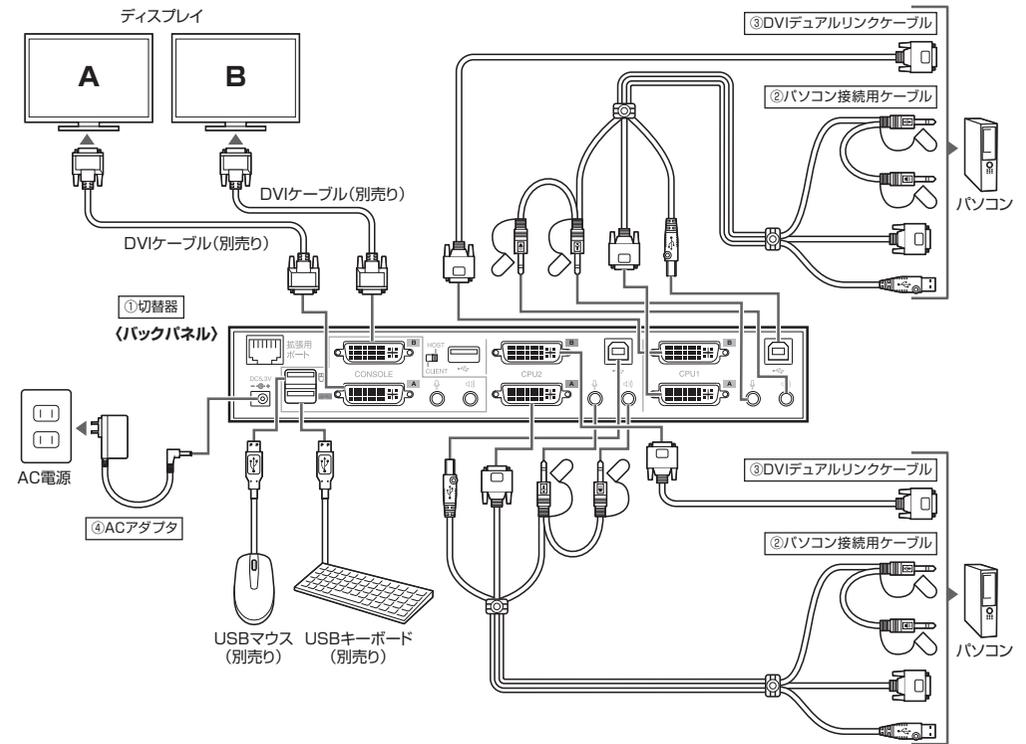
パソコン1台から2つの映像を出力し、2台のディスプレイに表示する方法です。



異なる映像を出力しディスプレイ2台を1台のディスプレイのように拡張出力することも可能です。

2台のディスプレイそれぞれに同じ映像を出力する分配出力も可能です。

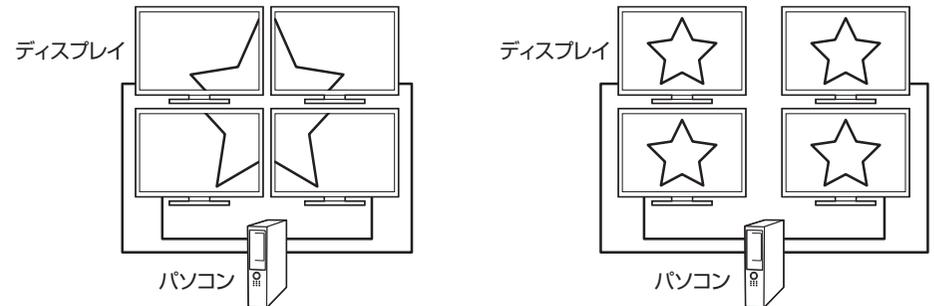
デュアルディスプレイ (マルチディスプレイ) 接続例



6. クワッドディスプレイ (4画面マルチディスプレイ)

クワッドディスプレイ (4画面マルチディスプレイ) とは

パソコン1台から4つの映像を出力し、4台のディスプレイに表示する方法です。



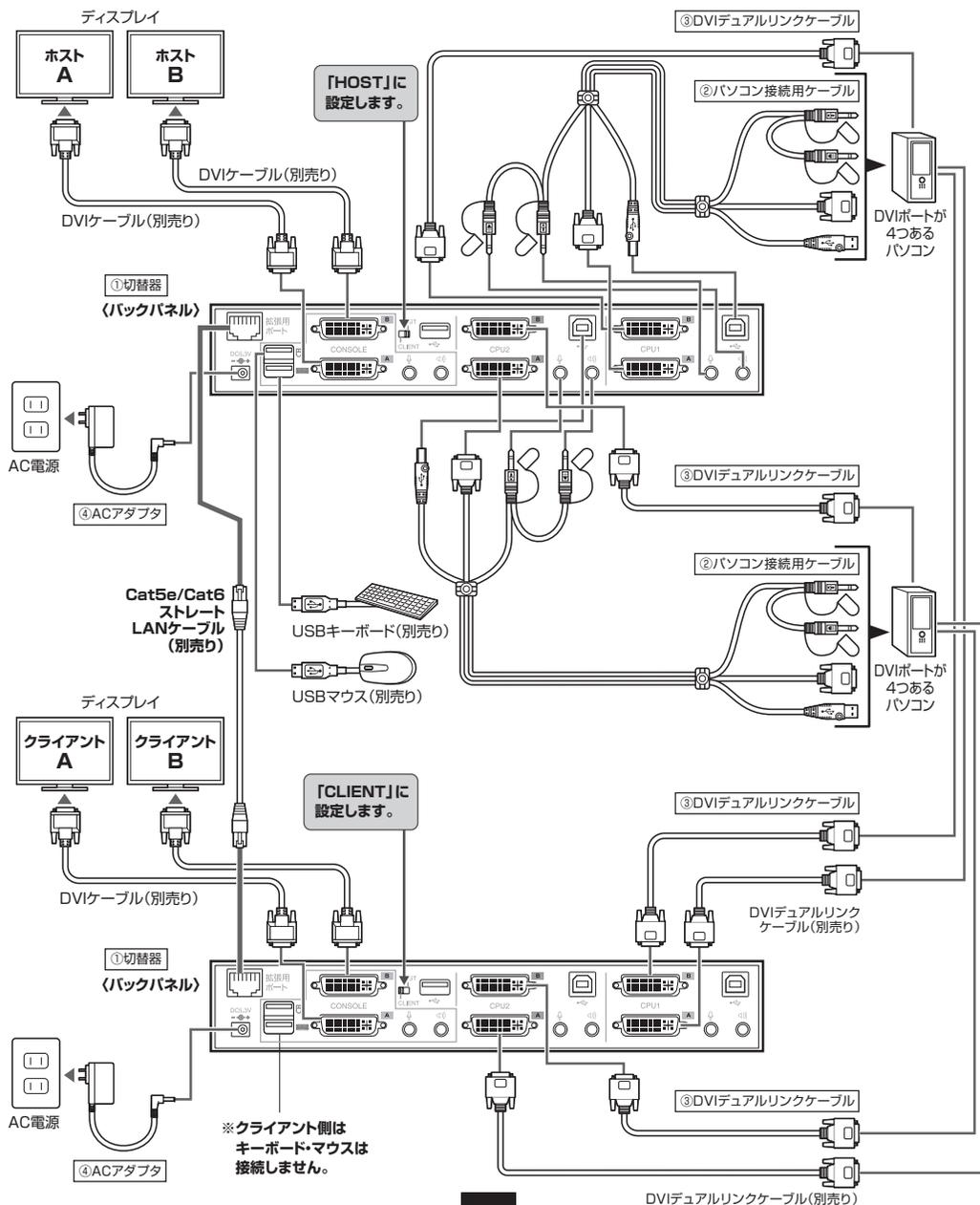
異なる映像を出力しディスプレイ4台を1台のディスプレイのように拡張出力することも可能です。

4台のディスプレイ全てに同じ映像を出力する分配出力も可能です。

6.クワッドディスプレイ(4画面マルチディスプレイ)(続き)

SW-KVM2DMDUを2台使用したクワッドディスプレイ(DCCモード)接続例

2台のSW-KVM2DMDU(本製品)を共に接続できるDCC(Daisy Chain Control)モードを使用して、4台のディスプレイを一致させるクワッドディスプレイ(4画面マルチディスプレイ)モードへと拡張させることができます。DCCモードを設定するには、全ての機器の電源をOFFにし、下記の通りに接続してください。



7.基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM …………… キーボード・ディスプレイ・マウスのこと
オーディオ ……… スピーカー・マイクのこと
USBハブ ……… フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

■ボタン切替

切替器のフロントパネルのポート選択ボタンを手動操作でパソコンを切替えることができます。

●特定のパソコンにオーディオ、KVM、USBをすべて切替える場合

- ①切替えたいパソコンに対応したポート選択ボタンを押します。
- ②モード選択ボタンを1回だけ押します。(モードLEDの3つが点灯)
- ③切替えたいパソコンに対応したポート選択ボタンを押します。(ポートLEDの3つが点灯)

●特定のパソコンにKVMだけを切替える場合

- ①モード選択ボタンを2回押します。(モードLEDのKVMが点灯)
- ②切替えたいパソコンに対応したポート選択ボタンを押します。(ポートLEDのKVMが点灯)

●特定のパソコンにオーディオだけを切替える場合

- ①モード選択ボタンを3回押します。(モードLEDのAUDIOのLEDが点灯)
- ②切替えたいパソコンに対応したポート選択ボタンを押します。(ポートLEDのAUDIOが点灯)

●特定のパソコンにUSBだけを切替える場合

- ①モード選択ボタンを4回押します。(モードLEDのUSB LINKのLEDが点灯)
- ②切替えたいパソコンに対応したポート選択ボタンを押してください。(ポートLEDのUSB LINKが点灯)

●オートスキャンモード

ポート選択ボタンの1と2を同時に2秒以上押すと開始します。

- 任意のポート選択ボタンを押すと、オートスキャンモードを停止し、そのときに押されたボタンに対応したポートにKVMが切替わります。
- モード選択ボタンを押して2秒以内にポートが選択されないと、モード選択ボタンはOFFになります。

■ポートIDの割当て

本製品の各ポートには、ポートIDが割当てられています。ポートIDはバックパネルのパソコンポートに明記されているポート番号に対応します。例えば、CPU2に接続されたパソコンのポートIDは2になります。ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替える時に使用します。

■ホットプラグ

本製品はUSBホットプラグに対応しています。本製品に接続された機器は、電源ONのままUSBポートに接続・取外しができます。

■終了と再起動

切替器の電源をOFFにしたり再起動したりする場合は、以下の手順に従ってください。

- ①切替器に接続されているすべての機器の電源をOFFにします。
- ②切替器からACアダプタを取外します。
- ③約10秒経過してから、切替器にACアダプタを再び接続します。
- ④切替器の電源がONになったことを確認し、接続する各機器の電源をONにします。

8. ホットキー操作

本製品には、拡張性が高く操作性の高い便利なホットキー機能を搭載しており、このホットキー機能の操作と設定はすべてキーボードから行います。KVM・USB・オーディオの独立切替もホットキーで操作可能ですので、ポート1でKVM操作をしながら、ポート2ではUSBハブやオーディオを使用するといった使い方も可能です。

[] …… 本書では、入力するキーを示します。例えば**[Enter]**はエンターキーを押します。
 複数のキーを同時に押す場合は、**[Num Lock] + [-]**のように「+」を表記してあります。
 同時ではなく順番に押す場合は、**[K] → [Enter]**のように「→」を表記してあります。

ポート切替

ホットキーによるポートの切替は、すべて[Scroll Lock]キー2度押しから開始します。
 以下の表は各ホットキーの操作内容について説明したものです。

❗ [Scroll Lock]キーが他のアプリケーション操作と競合を起こしている場合、ホットキー設定モードにて、[Ctrl]キーに設定変更をすることが可能です。(P.14「ポート切替のホットキーを変更する」参照)

■ サイクル切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[Enter]	KVM、USBハブ、オーディオのすべてを現在KVM操作ができるポートから次のポートに同時に切替えます。(例:ポート1→ポート2→ポート1…)
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[K]→[Enter]	KVMのみを次のポートに切替えます。USBハブおよびオーディオ選択は切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[U]→[Enter]	USBハブのみを次のポートに切替えます。KVMおよびオーディオ選択は切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[S]→[Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。KVMおよびUSBハブ選択は切替わりません。

■ ダイレクト切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[Enter]	KVM、USBハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートIDに対応するポートに切替えます。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[K]→[Enter]	KVMのみを指定したポートに切替えます。USBハブおよびオーディオは切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[U]→[Enter]	USBハブのみを指定したポートに切替えます。KVMおよびオーディオは切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[S]→[Enter]	オーディオのみを指定したポートに切替えます。KVMおよびUSBハブは切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[K]→[U]→[Enter]	KVMおよびUSBハブを指定したポートに切替えます。オーディオは切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[K]→[S]→[Enter]	KVMおよびオーディオを指定したポートに切替えます。USBハブは切替わりません。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[U]→[S]→[Enter]	USBハブおよびオーディオを指定したポートに切替えます。KVMは切替わりません。

※表中の「n」は、パソコンのポートIDを表しています。ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の「n」の部分に切替対象となるポートIDを適宜入力してください。(P.11「ポートIDの割当て」参照)

■ ダイレクト切替(続き)

ホットキー	機能
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[K]→[S]→[U]→[Enter]	KVM、USBハブおよびオーディオをすべて指定したポートに切替えます。 ※[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[n]→[Enter]のホットキーでも同様の操作を行うことができます。

※表中の「n」は、パソコンのポートIDを表しています。ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の「n」の部分に切替対象となるポートIDを適宜入力してください。(P.11「ポートIDの割当て」参照)

オートスキャン

オートスキャン機能は、一定間隔で自動的にポートを切替えて表示します。この機能によって、手動で操作しなくてもKVMスイッチに接続されたすべてのパソコンの状態を監視することができます。

ホットキー	機能
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[A]→[Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMが可能なポートが5秒間隔で切替わります。5秒間隔はデフォルト設定です。
[Scroll Lock]→[Scroll Lock]→[A]→[sc]→[Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVMが可能なポートがsc秒間隔で切替わります。

※表中の「sc」は、オートスキャンを行う際のポートの切替間隔(秒)を示し、1～99秒まで設定することが可能です。

- オートスキャンモード有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード・マウスの機能が無効になります。通常のキーボード・マウス入力を行う場合には、オートスキャンモードを終了してください。
- ❗ ● オートスキャンモードの実行中は、表示内容がポートごとに切替わりますが、このときオーディオとUSBハブの機能は切替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートのままになります。
- オートスキャンモードを終了する場合は、[Esc]キーまたはスペースを押してください。

9. ホットキーセッティングモード

ホットキー(キーを押す組合せ)によって本製品をキーボードから直接コントロールできますが、そのホットキーを変更(カスタマイズ)することもできます。ホットキーをカスタマイズするには、すべてホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。ホットキーセッティングモードは次の手順で有効にします。

- ❶ [Num Lock]キーを押したままにします。
 - ❷ [-]キーを押して、すぐに離します。
 - ❸ [Num Lock]キーを離します。
- 以下、この動作を**[Num Lock]+[-]**と表記します。

❗ ホットキーセッティングモードは別のキー操作でも起動することができます。
 (下記「ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する」参照)

- ホットキーセッティングモードが有効になると、
- [Caps Lock]と[Scr Lock]のLEDが交互に点滅します。
 - 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
 - [Esc]キーまたはスペースキーを押すと、ホットキーセッティングモードを終了します。

以下、いろいろなカスタマイズをご紹介します。

9.ホットキーセッティングモード(続き)

ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する

ホットキーセッティングモードを有効にするデフォルトの操作キーは[Num Lock]+[-]ですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、[Ctrl]+[F12]という操作に変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キー入力が[Num Lock]+[-]から[Ctrl]+[F12]に変更されます。

❗ デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[H] キーを入力してください。

ポート切替のホットキーを変更する

ポート切替に使用するデフォルトの操作キーは[Scr Lock]の2度押しですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、[Ctrl]の2度押しに変更することができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[T]	ポート切替に使用する[Scroll Lock]を[Ctrl]に変更されます。

❗ デフォルトの[Scroll Lock]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[T]キーを入力してください。

使用キーボードの変更

本製品に接続するキーボードのキーマッピングはデフォルトでPC互換プラットフォーム(Windows、Linux)に設定されています。例えば、コンソールに接続しているキーボードがパソコン用キーボードで、本製品にMacパソコンが接続されている場合、PC互換キーボードでMacキーボードをエミュレーションするように切替器側で設定を行うことができます。

この機能をご利用になる場合は、まずキーボード設定を行いたいポートを選択しておきます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。(P.17「Macキーボードエミュレーション」参照)
[Num Lock]+[-]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、こちらを選択します。

ホットキー設定を確認する

現在のホットキー設定を確認することができます。この機能をご利用になる場合は、まずテキストエディタ、またはWordソフトを開き、ペースト機能が使えるようにしておきます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F4]	現在のホットキー設定がテキストまたはWordに自動的に表示されます。

USB機器のリセット

USB機器がコントロールできなくなったときは、以下の操作でリセットできます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[F5]	USB機器をリセットします。

ビープ音のON・OFF切替

ポート切替時に出力されるビープ音のON・OFFを切替えることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[B]	ビープ音のON・OFFが切替わります。(初期設定はON)

ポート切替ホットキーの無効化

ポート切替に使用するデフォルトの操作キーは[Scr Lock]の2度押しですが、これを無効にすることができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[X]→[Enter]	ポート切替に使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にする。

❗ 無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

ホットキーの設定をデフォルトに戻す

ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[R]→[Enter]	すべての設定変更がリセットされ、デフォルト(工場出荷時の状態)の状態に戻ります。

ディスプレイエミュレーション機能

コンソールモニターのEDID情報を保存し、表示解像度を最適化するディスプレイエミュレーション機能が使用できます。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[D]	コンソールモニターのEDIDの情報を保存し、ポート切替時の表示解像度を最適化するディスプレイエミュレーション機能を有効にします。(ディスプレイエミュレーション機能は常時ONです。この操作で情報の再読み込みをします)

キーボードエミュレーション

キーボードエミュレーションをON・OFFします。

ホットキー	機能
[Num Lock]+[-]→[N]	キーボードエミュレーション機能をON・OFFします。(初期設定はON)

9.ホットキーセッティングモード(続き)

ホットキーセッティングモード一覧

ホットキーセッティングモード(P.13「ホットキーセッティングモード」参照)をONにした後、追加で入力するキーとその機能は以下の通りです。

キー	機能
[F2]	キーボードマッピングをMac対応に設定します。
[F4]	現在のホットキー設定をコピーし、テキストエディタにペーストします。
[F5]	USB機器をリセットします。
[F6]→[x]→[x]→[Enter]	キーボード言語を設定します。[x]→[x]は、キーボード言語コード(US英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15)を表す2桁の数字です。
[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、このホットキーを押します。
[B]	ビープ音のON・OFFを切替えます。
[D]	コンソールモニターのEDIDの情報を保存し、ポート切替時の表示解像度を最適化するディスプレイエミュレーション機能を有効にします。
[E]	電源検知機能をON・OFFします。
[H]	ホットキーセッティングモード起動キー入力が[Num Lock]+[-]から[Ctrl]+[F12]に変更されます。
[N]	キーボードエミュレーション機能をON・OFFします。
[R]→[Enter]	ホットキー設定をデフォルトに戻します。
[T]	ポート切替に使用する[Scroll Lock]を[Ctrl]に変更されます。
[W]	マウスによるポート切替機能をON・OFFします。ONの場合、マウスのホイールを2回クリックすると、ポートを切替えます。 ※マウスエミュレーション機能をONにしておきます。
[X]→[Enter]	ポート切替キーを有効・無効にします。
[Esc]またはスペースキー	ホットキーセッティングモードを終了します。

10.Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード(101/104キー)であっても、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーが使用可能になります。

PC互換キーボード	Macキーボード
[Shift]	shift
[Ctrl]	control
	
[Ctrl]→[1] ※	
[Ctrl]→[2] ※	
[Ctrl]→[3] ※	
[Ctrl]→[4] ※	
[Alt]	alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	return
[Backspace]	delete
[Insert]	help
[Ctrl]→ 	F15

※[Ctrl]キーを押してすぐに離し、その後フルキー側の数字キー[1]～[4]を押して離してください。

11.仕様

対応パソコン	Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ(USB Aコネクタ メス、DVI(24/29pin)出力を持つ機種)
対応キーボード	USBキーボード ※1・※2・※3・※4
対応マウス	USBマウス ※3
対応ディスプレイ	DVI(24/29pin)メスコネクタを持つディスプレイ ※本製品はデジタル信号、アナログ信号の両方に対応しています。付属の接続ケーブルはデジタル信号専用(デュアルリンク対応)ケーブルです。アナログ信号をご使用の場合は別途ケーブルをご用意ください。 ※シングルリンク・デュアルリンク両対応
対応解像度	最大解像度2560×1600(60Hz)(WQXGA)まで対応
対応スピーカー・マイク	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー・マイク
対応OS	Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応) Windows Server 2016/2012(R2)/2008(R2)/2003(R2) macOS 10.12~10.14、Mac OS X 10.6~10.11 Linux(CentOS、uBuntu、OpenSUSE)
インターフェース <パソコン用>	ディスプレイ/DVI29pinメス×4 ※デュアルリンク対応 キーボード・マウス・USB2.0ハブ/USB Bコネクタメス×2 スピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 マイク/3.5mmステレオミニジャック×2
インターフェース <コンソール用>	ディスプレイ/DVI29pinメス×2 ※デュアルリンク対応 キーボード/USB Aコネクタメス×1 マウス/USB Aコネクタメス×1 スピーカー/3.5mmステレオミニジャック×2 マイク/3.5mmステレオミニジャック×2 USB2.0ハブ/USB Aコネクタメス×2
切替方式	本体ボタン切替、ホットキー切替、オートスキャン切替
切替音	ビープ音ON・OFF設定可能
電源	ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)
消費電力	消費電流/0.71A(最大)(本体)
動作時温度・湿度	0~50℃ 湿度80%以下(結露なきこと)
保存時温度・湿度	-20℃~60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)
サイズ・重量	W260×D75.4×H42mm・約876g
付属品	パソコン接続用ケーブル(1.8m)×2、DVIデュアルリンクケーブル(1.8m)×2、ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1、取扱説明書・保証書

※1:キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。
キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバーを要する機能についても本製品経由では使用することができません。

※2:指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付キーボードなどでは動作しないことがあります。

※3:Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。

※4:ゲーミングキーボードなどのNキーロールオーバー機能を搭載したキーボードは動作対応しません。

※本製品はACアダプタの接続が必須です。未接続状態では動作しません。

※すべてのパソコン・キーボード・マウスの動作を保証するものではありません。

※キーボード、マウスにおいてドライバーのインストールを要する特殊なボタン、ファンクションキーについては本切替器経由では動作しないことがあります。

※ワンタッチボタンによるレジューム・サスペンド機能は対応しておりません。

12.トラブルシューティング

Q) MacとWindowsの混在環境でコンソールにMac用キーボードを使用したい。

A) 本書P.14の「使用キーボードの変更」を参照してください。

Q) ワイヤレスキーボードマウスセットを使用したい。

A) USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続して使用ください。
Bluetoothキーボード、Bluetoothレシーバー、Unifyingレシーバーは対応していません。

Q) ポート切替時にディスプレイ解像度が変わってしまう。

A) ディスプレイエミュレーション機能を使用しディスプレイ情報をKVMに記憶させてください。
詳しくは本書P.15の「ディスプレイエミュレーション機能」を参照してください。

Q) USBデバイスが認識しない。

A) スキャナーや複合機プリンターなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。
USBケーブル長を短くしてお試しください。

Q) ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。

A) 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。

免責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。